

第 3 期平戸市総合戦略の策定状況について

1. 策定に係る方向性

第 3 期総合戦略については、計画期間が 3 カ年ということもあり、4 つの基本目標は現状維持とし、各方策の方向性については、これまでの取組を継承・発展させるという視点に立ち策定を進めています。

2. 策定に係る新たな視点

- (1) S D G s の視点を取り入れ、各方策と S D G s の目標の紐づけを行う（明文化）。
- (2) 事業の実施にあたっては、デジタルの力を積極的かつ有効に活用する（明文化）。

3. 策定の進捗状況と主な施策

(1) 進捗状況

現時点では、第 3 期策定に係る調査への各課からの回答を基に、第 2 期の各数値目標・K P I 及び目標達成のための各方策の加除修正を行い、別添の概要版（案）に体系的に整理を行い、各課へのヒアリングを実施しています。本委員会の意見を聞きながら、翌年 1 月上旬には素案を作成できるよう作業を進めます。なお、2 月に第 5 回の委員会を開催予定であり、素案に対する意見をいただく予定です。

(2) 数値目標・K P I

数値目標については、総合計画基本計画と整合を図るための名称変更として、基本目標 2 産業の振興において、「水産物の総販売高」に修正します。

K P I については、漁獲物の高付加価値化を示す一つの指標として、同じく産業の振興 2 に新たに「漁獲物の総水揚げ量に対する総水揚げ金額」を設定します。

また、事業終了や一定の成果が出ていること等により、「地域計画にかかる事業申請件数（水産課）」「未来技術に係る研修参加者数（農業振興課）」「まちづくり運営協議会に対する支援回数（企画課）」の 3 件を削除します。

(3) 主な施策

基本目標 1 の雇用の促進では、市民アンケートで意見が多かった企業誘致による雇用の創出を継続実施するとともに、男女共同参画推進を積極的に推進します。

基本目標 2 の産業の振興では、担い手確保やブランド化推進などはもとより、ゼロカーボンシティひらど推進に必要な不可欠となる木質バイオマスイエネの活用促進を継続実施します、また、今後の目玉であるアルベルゴ・ディフーズタウン推進を新たに明文化します。更には、持続可能な地域経済の確立に循環型経済による新たなビジネスモデル創出を明文化します。

基本目標 3の子育て支援では、こども家庭センターによる切れ目のない支援の充実を図るため、子ども及び子育て世帯支援のトータルコーディネートを継続実施します。

基本目標 4の移住・定住の促進では、移住者の受入推進はもとより、郷土愛醸成による定住・移住の促進、結婚対策等を市民の幸福度が向上するような事業を継続実施します。

4. 今後の対応

R7. 1. 上旬	素案作成	
R7. 1. 中旬～ R7. 2. 中旬	パブリックコメント実施	提出者数：●人 意見件数：●件
R7. 2. 末	令和 6 年度 第 5 回平戸市総合戦略推進委員会	最終案の説明
R7. 2. 28	令和 6 年度 第 3 回平戸市ずっと住みたいまち創出本部会議	最終案の説明
R7. 3.	平戸市議会全員説明会	最終案の説明
R7. 3.	第 3 期平戸市総合戦略のホームページによる公開	

3年後の計画人口

平戸市総人口
約**26,000**人
(2027年)

第2期平戸市総合戦略の評価検証、平戸市未来創造羅針盤（第2次平戸市総合計画後期基本計画）に掲げた施策、総合戦略推進委員会での意見、**SDGsとの整合**等を踏まえ、**デジタルの力を積極的に活用するとともに、これまでの取組を継承・発展させることで、**人口減少抑制に努め持続可能な地域社会の形成を目指すため、以下の4つの基本目標を設定して施策を展開します。

基本目標1 雇用の促進
～しごとをふやすプロジェクト～

基本目標2 産業の振興
～しごとをのばすプロジェクト～

基本目標3 子育て支援
～ひとをそだてるプロジェクト～

基本目標4 定住・移住の促進
～まちをつくるプロジェクト～

第3期平戸市総合戦略（令和7～9年度 3年間）

基本目標（◆数値目標）

◆新規 ◇継続

1雇用の促進 ～しごとをふやすプロジェクト～

本市の特色を活かした新たな産業による雇用の促進

◇市内事業所の従業者数

2産業の振興 ～しごとをのばすプロジェクト～

地域資源を活用した賑わいのある魅力的な産業の振興

◇主要農林畜産物販売額

◇水産物販売事業総取扱高
水産物の総販売高

◇観光消費額

3子育て支援 ～ひとをそだてるプロジェクト～

子どもを産み、育てやすい環境の更なる充実

◇合計特殊出生率

◇20歳から49歳までの社会増減数

◇学校教育活動に対する評価

4定住・移住の促進 ～まちをつくるプロジェクト～

まちの活気を取り戻すための若者定住・移住促進対策

◇社会増減数

◇市外からの移住世帯数

重要業績評価指標（■KPI）

■新規 □継続

□ハローワークを通じた新規就業者数

□企業立地数

□市内の求職者数

□年間創業者数

□新規就農者数

□繁殖雌牛の平均飼養頭数

□沿岸漁業における新規就業者数

■漁獲物の総水揚げ量に対する総水揚げ金額

□地域計画にかかる事業申請件数

□観光入込客数

□年間宿泊客数

□年間外国人宿泊客数

□新商品開発数

□平戸産品取扱店舗数

□市内高校への進学率

□未来技術にかかる研修参加者数

□平戸市で子育てをしたいと思う親の割合

□地域子育て支援拠点事業の利用者数

□全国学力・学習状況調査結果

□英検3級相当以上の英語力を有する中学3年生の割合

□空き家バンク登録数

□移住相談件数

□まちづくり運営協議会に対する支援回数

□これからも平戸市に住み続けたいと思う人の割合

主な施策

●新規 ○継続

ア) 就労機会の拡大

○若者やU・Iターン者等の就労支援 ○企業誘致による雇用創出

イ) 就労環境の整備

○働きやすい環境づくりの推進 ○男女共同参画推進

ウ) 新たなビジネスの創造

○新商品開発の支援 ○地域資源を活用したビジネス創出

ア) 農林業の振興

○新規就農者の確保育成 ○生産者の経営安定と所得向上対策
○木質バイオマスエネルギー利用促進

イ) 水産業の振興

○漁業担い手の確保及び定着促進
○鮮度保持技術及び衛生管理体制の強化による高付加価値化

ウ) 観光の振興

○平戸版DMOへの支援 ○外国人観光客の受入整備
○市内全域への観光客の回遊及び交流人口の拡大

●アルベルゴ・ディフゾタウン推進

エ) 地域ブランドの推進

○平戸産品の取引拡大 ○新たなビジネスチャンスの場の創出

オ) 持続可能な地域経済の確立

○産業人材の確保 ○事業継承への支援
●循環型経済による新たなビジネスモデル創出

ア) 妊娠・出産・育児への切れ目ない支援

○多様化する保育ニーズへの対応 ○相談支援体制の充実
○子ども及び子育て世帯支援のトータルコーディネート

イ) 教育環境の整備

○校務DXによる学校教育の充実
○地域と連携した体験活動の推進

○語学教育による国際的な人材育成

ア) 移住の受入推進

○移住受入体制の整備 ○空き家バンク制度の周知
○移住相談体制の充実

イ) 魅力あるまちづくり

○協働による持続可能な地域コミュニティ形成 ○地域包括ケア
システム構築 ○郷土愛醸成による定住・移住の促進

○持続可能な医療提供体制構築 ○結婚対策の推進